

タテ科 ギンギシ属

アレチギンギシ (荒地羊蹄)

Rumex conglomeratus Murray

自生環境

道ばた、荒地 など

原産地

ヨーロッパ

予想される被害

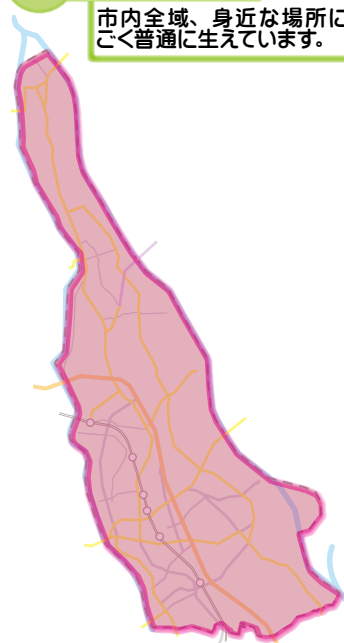
駆逐 交雑



増える力がとても強く、あちこちで繁茂しています。またギンギシの仲間は雑種をつくりやすいため、ギンギシやコギンギシなど、在来種の遺伝子レベルでのかく乱が心配されます。

市内の分布状況

市内全域、身近な場所に
ごく普通に生えています。



特徴

- ☆ ヨーロッパ原産ですが、適応力と繁殖力の強さから、ほぼ世界じゅうに広がっている多年草です。国内では1905年に横浜で発見されたのが最初の記録です。今はほぼ全国に広がり、身近な場所で普通に見られる存在になっています。
- ☆ 茎は直立し、枝分かれしながら高さ40~120cmくらいになります。太い根を地中深くにおろす上に、ちぎれた断片からも簡単に復活するため、一度侵入すると根絶するのは大変です。
- ☆ 花や果実は穂になってつきますが、節と節の間が離れていて、さらに節の部分には苞葉（小さな葉のようなもの）が1枚ずつつきます。花後3枚の内花被片が大きくなって、中に1個のタネを包みます。内花被片は細長く縁は切れこみません。真ん中に大きな粒体があり、成熟すると赤く色づきます。

アレチギンギシ系の雑種

ギンギシの仲間の雑種のうち、アレチギンギシを片親として比較的多いのはアレチナガバギンギシ（×ナガバギンギシ）とアレチエゾギンギシ（×エゾギンギシ）です。また市内では稀にアレチコギンギシ（×コギンギシ）も見られます。それからセイタカアレチギンギシ（×ギンギシ）もあります。セイタカアレチギンギシは、筆者が『千葉県立関宿城博物館研究報告』で新称を提案したものです。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

